

カテイラン

安眠の方法

一日のつとめを完全に果して、何等心にやましき事なく、明日もかくあらん事を祈りつゝ寝につけば、必ず安眠を得られるものであります。無理を通して自己の心を偽り他を瞞着しよう

とするから、夜もおち／＼眠られないのです。安眠の第一要件は心の平靜であります。心中一點の曇りもなければむしろの上でひちを枕にしても、安眠は得られるのであります。安眠を助ける他の条件としては入浴冷水擦足部の温浴、夜食、間食の禁止、寝具の輕暖、室内

生徒募集廣告

一、高等女學部 三ヶ年卒業 (尋常小學卒業業者又は實科高等女學校程度 之れと同等以上)

二、高等科 二ヶ年卒業 (尋常小學卒業業者又は之れと同等以上)

三、速成科 一ヶ年卒業 (高等小學卒業業者又は之れと同等以上)

四、研究科 六ヶ月卒業 (裁縫の素養あるもの)

一、師範部 一ヶ年卒業 (高等小業卒業業者又は之れと同等以上)

右各部各科共入學を許す志願者は三月三十一日迄に申込むべし

平陽裁縫女學校改め
福島縣平陽實科女學校
 假校舍平町字田町 電話四四五番

生徒募集廣告

一、普通科 百二十名 (高等科通じて二ヶ年卒業 尋常小學卒業業者以上)

一、高等科 若干名 (一ヶ年卒業高等女學校及他 裁縫女學校卒業並修了)

一、速成科 三十名 (一ヶ年卒業、尋常小學卒業 以上者にして普通裁縫の 素養あるもの)

一、高等女學部 五十名 (三ヶ年卒業 高等小學卒業業者以上 (實科高等女學校程度))

一、高等女學部 若干名 (高等小學卒業業者以上のものにして編入者試験に合格したるもの (第二學年補欠))

右各科各部共入學を許す志願者は三月三十一日迄に申込むべし尚四月一日入學式舉行につき在學證書提出者は當日午前九時までに提出せられたし定員超過の際は在學證書提出の順に採用す

平町田町
藤田裁縫女學校
 電話三二八番

の温度及び換氣法の適當に行はれること等であります胃腸病や、神經衰弱や腦病等のために安眠の出來ない人は、まづその病氣を治さなければなりません。反對にまた安眠の出來るような習慣がつくことのために病勢が頓挫するやうになるのであります。

四日ヨリ三日間晝夜上映

(明日は晝も開場します)

實寫 ユーナイテッドニユース

喜劇 美人の相場 全二卷 説明 古 林 輝 城

海上ロマンス 海の娘 全七卷 説明 酒 井 陸 城

大悲劇 東への道 全十二卷 説明 藤 原 松 雪

料場入 特等 一圓 主權
 一等 七十錢 團年青年平
 二等 五十錢
 小人各等半額

平驛前新通り
帝國館
 電話五五五番

御禮廣告

昨日出發の際は多數御見送り被下難有御禮申上候以御蔭様無事任地に安着仕候間御休心被下度不取敢以紙上御挨拶迄如斯御座候

三月五日
宮田三朗

江戸前 かばやき

御注文の際は電話四二四番を御利用下されば遠近に拘らず迅速に出前へを致します

御料理 仕出し
魚 榮
 平町二丁目北裏通

農村振興の實際方策を論ず

不替大岳人

我國は數年前の好景氣時代に於て極度に其大農制度を膨脹せしめた富豪實業家の不動産に投資する者漸く多減の悲運を嘗め様とした、然し大正九年三月の經濟界の變動と共に其傾向も一頓座を來し今日に及んで居るが大農制度の善悪は暫く之が詳細を見合せ此處には只大農制度の經濟的發達を阻害し且又世界文化の進運に

伴ふものでない事を一言するに止むる次第である、我國は借て置き英米各國に於ては大農制度の夙に非なるを悟り漸時集約的農業に轉換しつつあるのである。土地と勢力との關係に於て資本と土地面積との關係に於て、或は土地勢力生産との關係に於て或は改良の關係に於て大農制度が決して集約的農業に優るものでない事は現今等しく識者の認むる處である、況んや現今經濟組織が益々貧富の懸隔を甚だしからしめ經濟的弱者が永久に社會の最下層に虐げられて共存共榮の原理に反し之が改革の爲めに富

の平均乃至土地私有禁止の論が熾烈を加へつゝある時に於ておやである。先づ農村の振興を計らんとするならば現在に於ける大農制度を打破し其後に集約的農業制度を確立し生産土地、勢力經費の調和均衡を計らねばならぬ、現今の如く勢力足つて生産足らず、小作人は土地所有者の使用人又は喰物視されて居るが如き有様では到底農村の振興は覺えないのである。次に各種組合の活動利用の問題であるが、現今農村に於ては組合の利用活動の如きは殆ど數ふるに足らない

株買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐城銀行	一一五	一〇五
磐城銀行	三〇〇	二九五
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二五〇
同 新	一五〇	一八八
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一一五
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同 新	二五〇	一八〇
只見川電	一一五	七三
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一四五
磐城建物	一一五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城製菓	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製水	二五〇	二五〇
好問軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一〇〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同 新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	七三〇
同 新	一七五	二九五
平運送	一一五	八〇

東新株 先限 實物
 平町田町 電話三二二番
丸登株式店
 川添房二郎

定 一、部金貳錢 廣(五號十二休)日曜大祭 福島縣石城郡平町田町卅六番地
 一、月極二限リ 告(字詰一行)刊(祝日ノ翌)印刷所 一〇 活版所
 一、一ヶ月掛 料(五十七錢)日(日)印刷所

發行編輯人 川崎文治
 福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地
 發行所 常盤毎日新聞社

刊 夕 日 五 月 三

郷黨の人々に

法律家が 果すべき 貢献の一つ

平町に無料法律顧問を新設 丸山辯護士の衷情

既報永らく大審院に職を俸じて居た辯護士丸山柯太郎氏は東京市京橋區山城町に事務所を有して居るが平町が郷里であるの故を以つて播穂小路市原醫院跡にも事務所を開業し傍ら郷黨の人々に對して法律家としての果すべき貢献の一つとして無料法律顧問とも云ふべき『通俗法令質疑部』なるものを設けた、同質疑部は法令の意義内容等の疑問に就いて何等の報酬を受けず其相談に應ずるものであつて丸山氏は右に關して語る『吾人は其進退に當つて先づ法令の内容如何を詳知し右すべきか左すべきかの方針を定むべき必要を感じるものであります、然るに法令の多くは朝に一令を發して夕に一法を布くと云ふ有状にして其數積して百千を以て算ふべく且其綴る所の文字も餘りに抽象に過ぎ餘りに難解を極め専門法律家を以てしても之が解釋に苦しむこと尠なからぬ次第であります』

平運動場の 代表委員氏名

平町運動場設置既成同盟會では左記各團體の代表委員を決定し具體的運動に着手する筈

町長伊坂貞正、町會議員 應崎貞衛、行政區長大原長太郎、消防組頭井上茂作、在郷軍人分會長山崎清三、青年團長大森勇、弓道會飯田一三、石城野球協會飯田二右、石城野球俱樂部長谷川四良、平城中學校長滑川一郎、平自轉車組合鈴木長太郎

比佐氏推薦 憲派は 昨日の豫選會

石城憲派には既記の如く昨日午後一時から平町憲政俱樂部に於て豫選會を開會元縣會議員赤津亦太郎氏を議長に推し協議に入り開會以前より既に大勢は比佐氏に決定して居た事とて満

場一致同氏を推薦し五名の交渉委員が別室の比佐氏に折衝を試みた結果快諾を得同氏の立候補に關する挨拶に次いで數氏の所感演説あり必勝を期して午後二時散會した

少年議長が咳一咳 紺ガスリの可憐な 平第一小學校の議員會

大人も及ばぬアザヤカさ

平第一小學校にては兒童の自治的精神を涵養し學校内外の取締り改善に資する爲め年に五回各學級の級長及び發校團の組長より成る協議會を開く事になつて居る昨日放課後の午後一時四十分から講堂に於て今學年の最終會を開いたが議長は各議員が選舉した結果學業の餘暇本社常務毎日新聞配達に精勵して居る高等二年の級長加藤一郎君が議長に推薦され紺ガスリの可憐な姿で其席に着き咳一咳左記の議案を示し

眞面目な 問題 性慾 (三七) 本日 女性 陷欠

完全な發育と生活力の充實は女性の完成として重要な要求であるに拘らず、兎角閉却され易い殊に日本の女性に於て現に著しい缺陷と考へられるのは体格及體力の貧弱な點である、場所によつては大いに活動する女性がないでもない、女房が凡ての勞作に従事し、亭主はブラ／＼遊んでるやうな風習もある。農村漁村等にありては女子も男子同様の勞働を分擔して居り、其の體格筋力に於てもさ／＼男子を凌ぐ概がある場合もあるが、然し原則としては女子は男子程に解剖學的嚴丈さを具つて

此日尋常六年生以上は皆聽席に固唾を呑んで皆聽して居た

朝の六時から 炭礦稼ぎ 二萬の勞働者 賃銀の平均額

『朝の六時からカンテラさげて……』の炭礦勞働者は本郡に男一萬一千四百十餘人女三千五百九十餘人であるが卅餘の炭礦中で最も勞働者の多いのは磐城炭礦の四千三十餘名、入山採炭の二千三百六十餘名、古川礦業の二千六十餘名であつて勞働者の賃銀は平均男一日三圓五六十錢女同一圓九十錢である

醫師法違反の 批難が多い 開業の廣告

平町字南町耳鼻咽喉科大和田醫師が磐城時報に掲載した開業廣告に經歷を掲げたと云ふので醫師法第七條違反として同業者間の批難多く本日平署は取調を開始は居らぬ。即ち女は男より體力に於て何『パーセント』か薄弱なのは當然である。然し日本人に於ては、既に男子の體格が餘り立派でないのである。女性の體格は之に隨伴して矢張り立派でないのは當然であるが實際に於ては此の當然以上に女子の身體が貧弱なのである

珍聞奇聞

◆知事邸を襲ふ 靜岡縣知事の官邸に來客を裝ひ二名の強盜押入り夫人を脅迫して數百圓を強奪逃走した

◆爆彈投下椿事 霞ヶ浦航空隊で爆彈投下演習中突然爆彈破裂し附近に居た三人の水兵が兩眼其他に重傷

◆燈籠が盗まれる 上野公園五代將軍靈廟に獻じた金燈籠が屢々盗まれるが盗んだ男は外國人に賣つた由だ

卒業生

磐城中等學校の 優等生は二名 前中學校にては廿三日午前十時から同校講堂に於て

卒業式を舉行する筈であるが卒業生は左記百四十九名であつて其内優等卒業生は酒井正夫、赤津傳の兩君である(順序イロハ順)

- 飯高菊司、飯島祐俊、飯島秀松、生田弘二、今村六郎、今井勇也、石井金重郎、石山一、石森正雄、井出満、馬場三郎、原田種昌、林操、箱崎鐵三郎、長谷川左馬之助、新妻英雄、本多忠晴、遠山寛、千葉成夫、千葉喜好、布田一郎、大和田勝平、大河内一郎、大坪光夫、大塚八郎、大澤宗吉、小野正直、小野勝盛、渡邊芳雄、渡邊康一、渡邊正介、渡邊啓二、渡邊甚太郎、門井俊夫、上遠野泉、片寄義平、片寄七郎、金子義三、金成一

神谷市郎、神谷辰夫、横田良雄、吉田一、吉田文武、吉田寛、高木二男、高木四郎、田卷春造、竹島透、鶴山政義、根内六郎、根本子、根本庄兵衛、中村富枝、中野直次、永山定夫、諸橋敬一郎、宇野弘、國非徳弘、國非與一、草野壽男、草野又次郎、草野益、草野操、窪田郎、久野幸造、谷口弘仁、山田秀夫、山崎豊、安田山郎、松井淳、松岡敬之、松永尚文、松崎敏夫、松崎宏、松本久吉、正木吉次、正木信功、牧野幸次郎、眞木弘、馬籠文平、前澤正、古市利幸、福田藤行、藤澤正夫、木幡知市、小西力藏、兒玉直言、合津春三、小松留太、小森山盛雄、遠藤留太、相田千佐司、會田勝美、阿部芳次郎、赤津傳、秋間平

八郎、齋藤次郎、佐波古直臣、佐藤藤太郎、佐藤藤治、佐藤音吉、佐藤雄、酒井正夫、佐川浩一、坂上正廣、榊原多博、坂本龍夫、佐竹得、三瓶直資、佐々木一雄、桐谷文雄、木田芳郎、北郷太次郎、木村平八郎、木村庄吾、水戸三郎、水竹仁

募集

文藝其他一般投稿を募集します

柴野富根、志賀重義、白石長勝、白土博、篠塚平八郎、四家康清、清水準下瀧義矩、下山田正躬、廣瀬浩、肥田野三郎、菱瀧儀、森合力、門馬猛、關口考、關本忠勇、菅波林太郎、鈴木勇一、鈴木寛一、鈴木興一郎、鈴木興、鈴木剛、鈴木國三郎、鈴木七郎

少年の勞役 平町鎌田馬市場から五色町に通ずる道路に長さ四五尺の土橋が破損して通行人事の不便甚だしいのを見た平第一校の尋常六年生諏訪太郎、馬場金一郎、伊藤靜、尋常三年の氏家豊治、石堂喜一、神田俊一の六少年が一つ僕等が是れを改修しやうと相談が決し三月一日の夕方から種々の材料を拾ひ集め木材を並べ炭俵や藁等を下敷とし土を其上に運んで翌朝迄には完全に修理したといふ